

## 最優秀賞に北松西高

建コン協九州 夢アイデア交流会



（二社）建設コンサル  
タンス協会九州支部（田  
中清支部長）は7日、福  
岡市内で「夢アイデア交  
流会2024」を開催し  
た。写真Ⅱ。交流会では  
1次審査を通過した提案  
者らが、自らの夢アイデ  
アについてプレゼンテー  
ションし、一般の部の最  
優秀賞には長崎県立北松  
西高等学校2年1組が提  
案した「小値賀島の主要

な観光地へのアクセスの  
最適化」を選定した。ま  
た、ジュニアの部では、  
小学6年生の杉本勇人さ  
んの提案を最優秀賞に選  
んだ。

建コン協九州支部によ  
るこの取り組みは「夢の  
ような話を、本気でしょ  
う」をキャッチフレーズ  
に、毎年、広く一般から  
アイデアを募集している  
もの。

交流会では冒頭、田中  
支部長が、今年の応募作  
品の傾向について説明す  
るとともに、「これから  
の時間が皆さんにとって  
楽しい時間となることを  
期待している」等とあい  
さつし、プログラムがス  
タート。

今年で22回目となる夢  
アイデアには、全国各地  
から一般の部で28編、  
ジュニアの部で27編の提  
案が寄せられた。この日  
のプレゼンテーションで  
は、1次審査を通過した  
10編（一般7編、ジュニ  
ア3編）のアイデアにつ  
いて、提案者がその内容  
を発表した。また交流会  
のようすは、会場の観  
覧とともに、オンライン  
でも中継した。

一般の部で最優秀賞に  
輝いた北松西高校の2年  
1組は、クラスを代表し  
て2人の生徒がプレゼン  
に臨み、島内の交通網事

情などを紹介した上で、  
来訪者等に快適な観光を  
してもらうために、ルー  
ト動画付き観光マップを  
作製することなどを提案  
した。

講評では、各審査委員  
が「人への思いやりが全  
ての作品に入っていた。  
その思いをいつまでも持  
ち続けてほしい」「創造  
する時間が取りにくい時  
代ではあるが、今回応募  
された皆さんには、これ  
からも世の中を変える発  
想を提起して「いい」等  
と各提案を評価した。